

飛躍

TOKAI UNIVERSITY FUZOKU TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第256号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2007年6月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

校外活動(高校1・3年)・スポーツ大会(高校2年)

夢をはぐくみ、クラスの絆を強め、友情をあたためた 5月の一日



高校3年 バーベキュー(西湖周辺)

バス乗車中は雨が降っており、天候が心配されましたが現地に着くと雨も上がり野趣あふれるバーベキューに挑戦しました。用意された食材のほかにもんじゃ焼き、お好み焼きといった定番メニューから、マッシュマロまでも食材にして各班趣向を凝らした追加料理を堪能しました。西湖をバックにクラス集合写真を撮影し、心にも写真にも残る思い出深い一日となりました。

高校2年 スポーツ大会(総合グラウンド)

開会式を迎えるまでは天候が危ぶまれていましたが、生徒たちの思いが通り、無事にスポーツ大会を開催することができました。午前中は男子がフットサルとソフトボール、女子がフットサルに挑み、各クラスとも男子は女子の、女子は男子の応援に熱が入りました。お互いを応援する気持ちが功を奏して、午後の直線リレー・綱引きではクラスの男女が一丸となって戦うことができました。友情とクラスの絆を深めた楽しい一日となりました。



高校1年 東海大学見学(湘南校舎)

2号館ホールでの説明のあと、生徒たちは5か所の学生食堂に分かれて食事をとりました。午後はグループ単位でクイズラリーに挑戦し、答えを求めて雨上がりの陽射しが眩しい木々の中、広いキャンパスを駆け巡りました。また、9組(SSHクラス)はラボツアーを行い研究室を訪れ、先端を行く施設設備に目を見張り、将来の夢に思いを馳せる一日となりました。

2007年度学校運営方針①

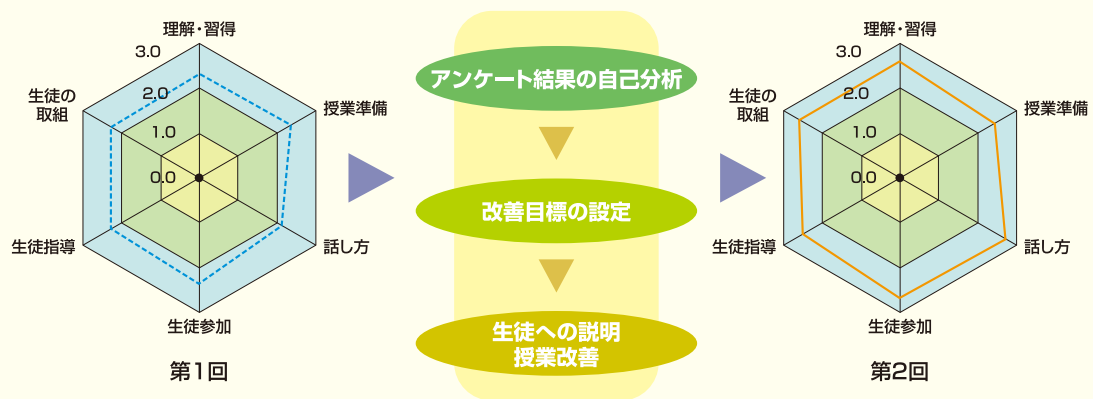
5月9日、2007年度「第一回一斉公開授業」を行い、155名の保護者の方々に来校していただき、熱心に授業を見学していただきました。特に、中等部の授業公開には67名(80%)の保護者が参加されて、元気に勉強する中等部の授業を見学なさいました。

保護者の方々には、帰り際授業評価アンケートに答えていただき、たくさんの貴重なご意見をちょうだいいたしました。

本校の授業改革のために、第2回一斉公開授業にも、ぜひお越しいただき、ご意見をお伺いしたいと思います。

「生徒による授業評価アンケート」の結果を受けて、授業改善の期間と数値目標を設定し、組織的な(各教科)授業改善に努める。

- 教員の授業自己点検を行うと同時に、「生徒による授業評価アンケート」の結果から授業改善の期間と数値目標を設定し、組織的(各教科など)な授業改善に努める。
- 授業改革・授業評価の推進と定着をはかる。



全授業を公開し、研究授業・公開授業へ積極的に取り組む。

- 年間を通じて、常に授業を公開する。
- 授業見学がしやすいように、定期的に年2回3日間、一斉公開授業日を設定し実施する。



SSH 5年指定を受けて

文部科学省『2007年度スーパーサイエンスハイスクール』の研究開発校として継続指定されました。

本校は、文部科学省から平成16年度に「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」に指定されてから3年間、「科学技術、理科・数学教育の開発を重点的に行う学校」として、理科・数学に重点を置いたカリキュラム開発や大学や研究機関等との効果的な連携方策等についての研究を推進し、その成果を発表してまいりました。そうした研究成果を定着させるためには継続実施して、開発した教育システム等の評価 (check) と改善 (act) に取り組まなければならないとして、5年間の新規申請を行いました。

5年間の計画は、最初の3年間で1st Stage、4年目を2nd Stage、最後の1年間で3rd Stageとしました。1st Stageは計画と実行とし、これまでの3年間で学んだことを精選して1年間ごとにHop、Step、Jumpとしました。

Hopでは、知的好奇心の喚起を主題とし、興味関心、基礎基本

の定着、科学的表現力の育成を目指します。

Stepでは、探究活動の技能の習得を主題とし、分析力と総合力、知識の定着、論理的思考力の育成を目指します。

Jumpでは、創造性や獨創性、倫理観の育成を主題とし、問題解決能力の育成を目指します。

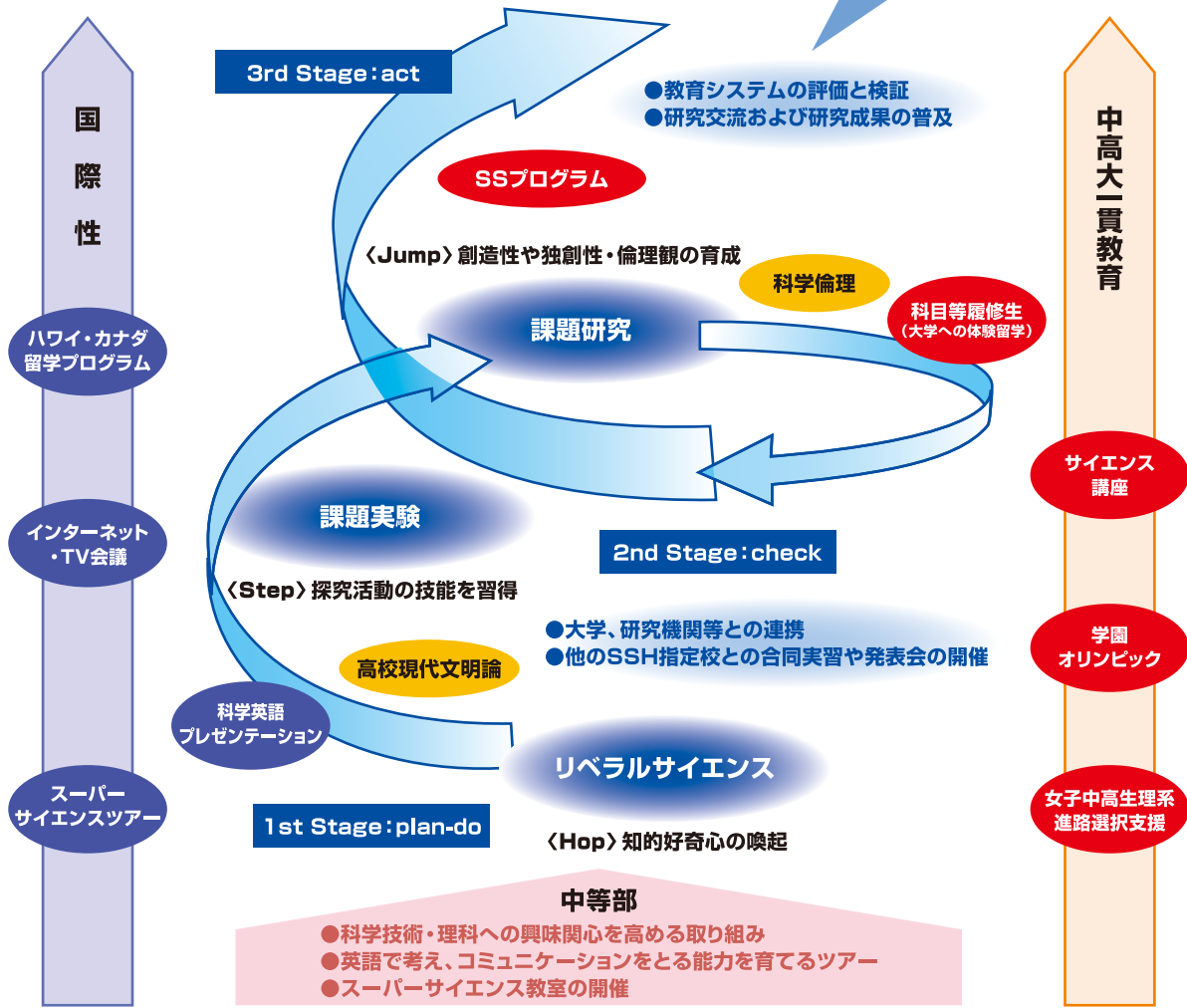
2nd Stageは評価の年として、新3年間の1st Stageに取り組んだ課題の実施結果を検討・評価し、目標と比較するなど、分析をおこないます。3rd Stageは改善の年とし、取り組みの継続的な改善と向上に必要な措置を実行して、研究成果の普及が発展的に継続できるようにする予定です。

新たな5年間のSSH研究開発は、教員が教科として学校としてこの活動に主体的に実践する「社会とのつながり」をもった教育を行い、男女共同参画社会の実現を目指した科学技術創造立国を担う理工系の優れた人材の育成につながると考えています。

東海大学付属高輪台高等学校スーパーサイエンスハイスクールの取り組み<イメージ>

文理融合の総合文明を築くために、21世紀を担う「時代の開拓者」を育成する

- ① 科学技術への学習意欲を高め、国際性を備えた時代の開拓者を育てる高大接続を考えた一貫教育プログラムを開発する。
- ② 社会とのつながり及び男女共同参画を推進する教育システムを開発する。



学年の様子

中等部 1学年

中等部第一期生のスタートは、4月2日の入学式・始業式・静岡での3日間のオリエンテーション合宿と、息をつく暇もないほどの濃密なスケジュールで幕を開けました。小学校を卒業したばかりの生徒たちが、まずこのスケジュールをどの程度こなせるか見ることで、生徒たちの学校への適応度や生活力のおおよその見当がつくのではないかと思います、少しの不安と大きな期待を持ってこの最初の一週間を生徒たちと共に過ごしました。その結果は、予想をはるかに上回る元気な姿を私たち教員は目にする事となりました。すでに数年来の友達であるかのように、難無く級友達と言葉を交わし、教員の話にしっかりと耳を傾け、オリエンテーション合宿では幾度か指導が必要だった場面はあったものの、決められた時刻を守った行動が取れる姿を見せてくれました。授業が始まり、私自身授業を持ち、また、他教科の授業も時々



覗かせてもらっています。多くの生徒が、自分の意見を臆することなく我先にと発言する姿を見るにつけ、まだまだ無邪気で、だからこそ、これからの我々教員の指導いかんで無限大にあらゆるものを吸収する可能性を秘めています。そのような生徒たちとこれから学校生活を共にできること。それが私たちは楽しみでなりません。(田中享)

高校 1学年

クラス分け試験・入学式・始業式・オリエンテーション・学園基礎学力定着度試験と、めまぐるしいほどの学校行事を終えて、生徒たちも教員一同もやっと落ち着いて学校生活を送ることができるようになりました。1学年の1組から9組まで、どのクラスの生徒もだいぶ学校生活に慣れてきて、友人もでき、それぞれに楽しい学校生活を送っているようです。4月10日より本格的な授業も始まり、緊張感を持ちながらも真剣に学んでいる姿をみて、だいぶ高校生らしくなってきたと安心しております。生徒たちはどの教科の勉強にも真摯に

学ぼうとする姿勢を見せており、よい雰囲気です。このようなよい状態をいつまでも継続して欲しいと願っております。また、仮入部期間が終了して、部・同好会活動も本入部となり、本格的に部活動に参加して、練習を始めている生徒も多いようです。生徒たちが早く部活動の中での自分の位置を確立して、勉強と部活動を両立させ、楽しく有意義な高校生活を過ごして欲しいものです。1年生諸君がいつまでも初期の目標を見失うことなく、自分のやりたいことに挑戦して、日々肉体的にも精神的にも成長していくことを願っています。(江口)

高校 2学年

4月4日(水)、2007年度前期の始業式。生徒たちは期待と不安の相半ばするなか、登校したことでしょ。もっともこのような心境で登校することも滅多にないことかもしれませんが。そう、この日は新2年生としては最初の登校日で、生徒諸君の専らの関心は「新クラス」でした。朝、旧担任が個々の生徒に新クラスを伝えている教室はにぎやかというよりも、いささか興奮していました。学年としてはひとつのクラスを除いてのクラス替えて、文系4クラス、理系6クラス、SSH1クラスと相成りました。

4月当初は多くのクラスで、緊張感も手伝って、静かで落ち着いたクラスが多かったように思われます。時間の経過とともに、個々の生徒たちが、良い意味でも悪い意味でも変わり始めて、その結果、クラスの雰囲気も変わり始めているようです。世間一般的には、高校2年生というのは、「中だるみ」の学年といわれているようですが、はたして今年の2年生はどのようになるのでしょうか？ 3年間の高校生活の中で、とても大切な1年間、生徒諸君の勉強に、部活動に励む姿勢を遠くから見守りたいです。(高橋昇)

高校 3学年

「知的財産教育」については、各教科やHR・高校現代文明論の授業の他に、建学祭に出展したクラスの中で「知的財産グランプリ」を付与するという試みも実施され、積極的に進めてきました。また、去年はHRの時間を使って「ユニバーサルデザインを作ろう」と題して、実際に商品化されたら便利なものを生徒が個々に考えました。いろいろな品を発案しましたが、それぞれにユニークなアイデアが出されており、我々大人とは視点の違いも感じ、生徒の発想力に関心させられました。そして最も斬新であり、商品化されれば面白いであろうも

のを各クラスで数名選出し、その中から学年の先生方で投票し、大賞1名・優秀賞2名を選考したのですが、選考から漏れたものでも良いものがたくさんありました。用途の説明は割愛し、品名だけを紹介します。例えば「らくらく洗濯機」「作図下敷き」「ものさしばさみ・ものさしテープ」「開けやすいキャップ」「超黒板消し」など。数々の品から大賞は4組・澤田侑美さんの「らくらく車椅子」、優秀賞に9組・矢澤義政君の「多目的ファイル」9組・高橋愛さんの「クリップ画鋸」が選ばれました。近い将来、本校から優れた発明家が生まれることを期待します。(笹木)

保護者会



4月14日(土)に中等部1学年と高校1学年、4月21日(土)に高校2学年と高校3学年の2007年度の第1回保護者会が開催されました。各学年の様子をお伝えいたします。

中等部 1学年

中等部での生活が始まって2週間での保護者会であったため、その間の大きなイベントであった宿泊を伴ったオリエンテーション合宿の様子を、分級会でスライドを交えながら報告させていただきました。生徒達が実に楽しそうにオリエンテーションに参加している姿を見ていただいたことで、既に生徒達が各御家庭でその様子を伝えていた情報と重ね合わせ、保護者の皆様は一樣に、好調な学校生活のスタートに安心されていたようでした。また、中等部が開校されて1年目であり、在校生や卒業生、そしてその保護者の方からの体験談等の口コミによる情報も全くなく、学校説

明会やパンフレットの情報を頼りにして本校を選択していただいた保護者の皆様にとっては、今後のより具体的な中等部の取り組みをお聞きになりたいとの声が事前に多く寄せられていました。そこで、全体会と分級会を通して、中等部での今後の生活について、学習面や生活面等、様々な角度から説明をさせていただきました。担任に寄せられた保護者の方からのお話は、子ども達が大変楽しく学校に通っており、今回の保護者会では学校や教員の様子がよく分かり、安心して子ども達を本校に預けられるといった好意的なお言葉を多数頂戴しました。私もはその期待に応えるべく、一致団結して全力で指導をしていきたいと思っております。(田中亨)

高校 1学年

保護者会への全体の出席者は394名で出席率はほぼ9割でした。午後1時からアリーナで中等部と合同で全体会が行われ、学校長の挨拶の後、今年度初めての試みとしてNTTドコモの講師の方に携帯電話のマナー講習会を行って頂きました。保護者の皆様には大変満足頂けたようでした。中等部の保護者が第一会議室に移動した後、高校1学年の全体会がそのままアリーナで行われ、学年主任、教務主任代行、生徒指導主任、進路指導主任、研究主任、教育総合相談室長、JTBや近畿ツー

リストから話がありました。その後、各HRクラスに分かれて分級会が行われ、各HR担任を囲んで有意義な時間を過ごすことができましたようです。ほとんどのクラスで分級会は1時間で終了する予定でしたが、30分~1時間ほど、時間を延長したようです。クラスでは保護者相互の交流が活発であり、質問や懇談会の中心話題は、研修旅行のコース選定、体操着のゼッケンの取り付け方、電子辞書、部・同好会活動、勉強等になっていたようです。次回、6月23日の保護者会にも多くの保護者に参加して欲しいと願っています。(江口)

高校 2学年

今回は「新年度(2年生)を迎えて」というテーマのもと、生徒指導主任から生活面全般について、そして進路指導主任から卒業後の進路先決定のための心構えを中心に話が進められました。その後各教室へ移動して分級会となったが、保護者の方々にとっては新担任との初顔合わせということもあり、どのクラスも軒並み予定されていた時間を過ぎて分級会が終了しませんでした。各クラスで異口同音の話題は、やはり、2年生というこ

ともあってか、研修旅行に関してでした。例年よりも出発が1週間遅いとはいえ、5月に実施される前期中間試験(までもあつという間であるが)が終了すると、目と鼻の先に差し迫っているからです。保護者会当日は、出張その他で2名の担任が分級会を失礼しましたが、どのクラスもお茶を飲みながらの和やかな雰囲気であったようです。2年生が始まったばかりですが、保護者の方々のご理解とご協力のもとに、また今年も1年間、お付き合いいただければ幸いです。(高橋昇)

高校 3学年

初めに13:00より短大の331教室にて全体会を行いました。内容は、まず副校長の片桐より挨拶があり、生徒指導主任の酒井より、主に「3年生の生活面について」、続いて進路指導主任の梶野より「進路に向けて」の一般的な内容、そして、最後に学年主任の私より、主に「3年生として期待すること」をお話しさせていただきました。約1時間の全体会が終了した後、各HR教室に移動し分級会を行いました。どのクラスも和やかな雰囲気且つ真剣に分級会が進められたようです。話題になった内容としては、やはり進路に関する細かい点の質問や相談が主だったようです。また、あるクラスでは生徒に期待することをいくつ

か紙に書いてもらったところ、とてもたくさん書いてくれたようで、担任も今後の指導の参考になったと喜びの報告をしてくれました。また、分級会に引き続き懇親会を開いたクラスもあり、建学祭についてなど、話題も豊富で大変内容の濃い会ができたとの報告も受けました。3学年はまず、進路が決定するまでは、生徒・保護者・教員共に緊張の連続だと思います。ただし、進路が決定した後も共に気を抜かないようにしなければいけません。進学後のことを思うと、今後の高校生活の過ごし方が重要になると思いますので、1年間を通して充実した張りのある生活ができるようにしたいと思います。(笹木)

憲法記念講演 子どもの人権救済の現場から

弁護士の坪井節子先生をお招きして、恒例の「憲法記念講演」を4月26日、高校1年生を対象に開きました。坪井先生は、救いを求める子どものための緊急避難施設「カリヨン子どもセンター」の運営に当たっておられます。先生が熱く語られる現場の生なましいお話しに多くの生徒が胸を打たれ、「子どもの人権」についてあらためて想いをめぐらせていました。

廣野 麗奈

1年8組 目黒区立第三中学校出身

私はこの講演で、たくさんのことを学ぶことができました。命の重さや今の子供たちの家庭状況など…。私たちが楽しく学校生活を送っている中で、薬物乱用や虐待を受けている子たちが傷ついていく姿を誰が想像したでしょうか。たとえその事態に気付いていたとしても、大人たちは忙しくて自分のことで精一杯なのだと思います。でもまたその中で気付いているのに、気付かないふりをしている人も少なくないはずだと思います。だから、それに気付いた子どもたちは、人間不信におちいたりするのだと思いました。両親は何で自分を産んだのだと思う子どもは、きっとたくさん世の中にいると思います。でも嫌なこともあったけど、今自分たちがあるのは、支

えてくれる人たちがいて、一人でも信じてくれる人がいたから。それだけで幸せだから、今苦しんでいる子どもたちにも生きていく意味と価値を分かってもらえたらと思います。



部・同好会活動紹介

アーチェリー部

顧問 高橋 昇・田島 一代 部員数 19名

第2の山本選手を目指して

小川 浩輝

3年8組 大田区立矢口中学校出身

私たちアーチェリー部員は、毎週月～金曜B3エレベーター前で近距離射撃、素引きトレーニングなどの基礎練習を行っています。また、平和島や浜町にある公共のアーチェリー場に行って練習もします。さらに、夏と春には強化合宿を行い、コーチや先代の部長の指導のもと、1日中練習に励みます。

部員は3年が4人、2年が6人、1年が9人の合計19人で構成されています。みんなとても仲が良く熱心で、活動の無い土曜や日曜にも個人的にアーチェリー場に行き、一般の人たちと一緒に練習します。我が部のコーチはオリンピックで銀メダルを取った山本博選手の指導をしたこともある凄い人で、みんな頼りにしています。

アーチェリーとは弓を引き、矢を放つだけの簡単な競技に見えますが、実際はそうではありません。アーチェリー

の弓はとても重く、初めての人は引くことも困難です。実際の競技では30～90メートル先にある直径1メートル程の的を狙います。90メートルにもなると、手元が5ミリずれただけでも的から外れてしまいます。そのため、筋力、筋持久力、集中力が必要となります。しかし、アーチェリーは競技人口が少ないため、大会で上位に入る可能性が大いにあります。最近、アーチェリー部はあまり良い成績を残していませんが、これからは更に練習に気合を入れ、良い結果を残すつもりです。皆さん、今後のアーチェリー部の活躍にご期待ください。



中等部のコーナー

部・同好会活動が始まりました!!

中等部に入学して2ヶ月、高輪台での生活にも慣れてきました。中学生になって初めて体験したこと…初めての英語の授業、初めての学食、そして初めての部・同好会活動。生徒84名全員が、部・同好会に所属しました。顧問の先生の指導を受け、高校生の先輩にサポートしてもらいながら充実した活動をしています。

伊藤 駿 1年B組 川崎市立西丸子小学校出身

ぼくはサッカー部に入りました。なぜサッカー部に入ったかということ、小学校の時からサッカーをやっていたからです。もう一つはサッカーが好きだからです。もしこの中等部にサッカー部がなかったら、ぼくはどの部活にも入っていません。5月から、本格的に部活動が始まりました。真剣に部活動にはげみ、部員みんなでうまくいきます。時には、辛い練習もでてくると思うけれど、歯をくいしばってがんばって、その成果を試合に出してどんどん勝ちたいです。

男子バスケットボール部顧問

長田 一水

現在、中等部バスケットボール部は平日週2回の活動を行っています。バスケットボール未経験者がほとんどなので、練習はパス・ドリブル・シュートといった基礎的なものや、体力づくりを目的としたトレーニングを中心にしています。

本年度は創設1年目。部員数や技術面、精神面など、公式戦に望むには厳しい状況にありますが、高輪台高校中等部の記念すべき1勝目を目指し、日々の練習に励んでもらいたいです。

放送部顧問

工藤 優樹

中等部の放送部は週に3日程度活動しています。放送部というと学校放送が中心と思われるのですが、今おもに取り組んでいるのは映像作品作りです。高校生の先輩たちが優しく丁寧に指導してくれるので、難しい作業にもしっかりと取り組むことができます。これから中学生とは思えないようなレベルの高い、創造性豊かな作品が完成すると期待しています。高輪台の放送部は伝統のある部活で、放送機器も充実しています。これから中等部生たちが新しい放送部の伝統を作ってくれと期待しています。



素振りは基本中の基本!



シューティング練習「練習あるのみ!」



「先輩、クラウチングスタートって難しいですね」



リフティング 何回できるかな

お知らせ

高校2年生 研修旅行 6月25日～30日

どのコースも思い出をたくさん作ってきてください!

- 北海道コース ○沖縄コース ○ハワイ 研修コース・ホームステイコース
- オーストラリア 研修コース・ホームステイコース

研修旅行期間中、中1・高1・高3は4時限授業、臨時時間割になります。

学年別 スポーツ大会 さいたま総合グラウンド、雨天時本校アリーナ

中等部 **1年** 6月26日(火) 高校 **1年** 6月30日(土) 高校 **3年** 6月28日(木)

※運動靴・お弁当・飲み物を忘れないように!

行事予定

June 6月

- 1日(金) 東海大付属推薦小論文試験(高3)
小論文コンテスト(高1、高2)、作文コンテスト(中1)
- 2日(土) 後援会委員総会
- 4日(月) 朝礼、生徒総会(7時限目)、教育実習(～22日)
- 7日(木) 剛健検診(高1、高2、中1)
- 8日(金) 剛健検診(高2、高3)
- 9日(土) 英検(高2、高3)、後援会学年懇談会
- 13日(水) 専門医によるカウンセリング
- 15日(金) 漢検(中・高)
- 21日(木) 校医相談日
- 23日(土) 保護者会(高1、中1)
- 25日(月) **研修旅行(高2)(～30日)**
4時限授業(高1、高3、中1)(～29日)
- 26日(火) **スポーツ大会(中1、総合グラウンド)**
- 28日(木) **自宅学習日(高1)**
スポーツ大会(高3、総合グラウンド)
- 30日(土) **スポーツ大会(高1、総合グラウンド)**



研修旅行(ハワイ)



(沖縄)

July 7月

- 2日(月) 朝礼
- 4日(水) 専門医によるカウンセリング
- 5日(木) 東海大学進学説明会(高2、1時限目)、校医相談日
- 8日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 12日(木) 生徒による授業評価アンケート
- 13日(金) **剛健旅行開会式(7時限目)**
- 14日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)、水泳実習(中1)
- 16日(月) **海の日**
- 17日(火) **第39回剛健旅行(～18日)**
- 19日(木) **剛健旅行閉会式、大掃除、夏季休暇諸注意**
- 20日(金) 希望者講習(～27日)
- 31日(火) **学園オリンピック(文化部門)(夏季セミナー、～8月5日)**



学園オリンピック夏季セミナー

August 8月

- 6日(月) **学園オリンピック(スポーツ大会)(湘南校舎、～8日)**
生徒会運営懇談会(～8日)
- 13日(月) 学園教職員一斉休暇(～18日)
- 21日(火) 希望者講習(高、～30日)
- 25日(土) **東海カルチャーセミナー**
- 27日(月) サマーセミナー(中、～30日)

編集後記

わが高輪キャンパスに、この春新設された「専門職大学院」に続き、「三大学統合」の一環として4年制の「情報通信学部」が来年度設置される。これにより、高輪には中等部・高等学校・大学・大学院の4つすべてが揃うことになる。この4月、高輪台高校中等部に入学した第一期生の中から、ここ高輪の地で12年間にわたる「一貫教育」を受ける「第一号」が、多分出てくるかも知れない。その時には、24歳になっているはずだ。ただし、当の本人も今はまだ気づいていないだろうが…。高輪キャンパスは、中・高・大・院の「一貫教育」への新たな一歩を踏み出した。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>